

## JENESYS2021 日インドネシア・オンライン交流（若手ジャーナリスト）の記録

### 1. 概要

【目的】インドネシアの若手ジャーナリストが、(1)日本の報道関係者との意見交換を通じて、日本の報道姿勢を学ぶと共に、関係者間の親睦を深めること、(2)日本とインドネシアの架け橋として活躍が期待される彼らに、日本の社会、産業、文化についての理解を深めてもらうこと、を主目的に本プログラム業を実施しました。

【参加者】インドネシアの若手ジャーナリスト等 計 33 名

【訪問地】京都府、東京都、北海道



### 【日程】

日付 訪問地	内容	参加者の質問・反応
以下の参加人数：25 名（他のプログラムと合同で実施）		
2021 年 10 月 6 日 京都府	<b>【ウェビナー・質疑応答】</b> 友好都市講義 1. 「一般社団法人てこらぼの事業概要」 講師：一般社団法人てこらぼ代表理事 山口 洋典氏 2. 「インドネシア関連のこれまでの活動 まとめ」 講師：本藍染雅織工房代表 中西 秀 典氏 3. 質疑応答	講師より、京都府とジョグジャカルタ特別 州の友好都市関係をきっかけに始まった、 ジョグジャカルタ野蚕を用いた織物の復 興活動支援について紹介を受けました。 講義を受け、製品の販売予測やマーケティ ング手法に関する質問がありました。また、 「インドネシアで、パティック・シャツ がフォーマル服であることについて日本 人はどう思うか」等、日本人が持つパティ ックへの印象に関する意見もありました。
以下 6 日間の参加人数：8 名（以下のプログラムは他のプログラムと合同で実施）		
2022 年 3 月 2 日 ～	<b>【動画視聴】</b> 1. 外務省挨拶 2. 南三陸町からのメッセージ 3. ホストタウンの取り組み	プログラムへの理解を深めるため、参加者 は日本やプログラムに関する動画を視聴 してから参加しました。
2022 年 3 月 9 日 東京都	<b>【オリエンテーション】【ウェビナー・質            疑応答】</b> 1. オリエンテーション ① 開会、挨拶 在インドネシア日本国大使館	プログラムにおける参加者の役割・ミッシ ョンについての説明を、頷きながら熱心に聴 講していました。また、メモをとっている 参加者も多数おり、とても真剣な様子でし た。質疑応答では、「日本では高齢化が問題

	<p>広報文化部 二等書記官 磯村 真太郎氏</p> <p>② JENESYS 概要説明 ③ プログラム内容、ミッション説明</p> <p>2. 日本理解講義</p> <p>① 講義「Japan Today」 講師：SIMA 国際経営研究所 所長 木村 秀夫氏</p> <p>② 質疑応答 ③ 集合写真撮影</p> <p>3. グループオリエンテーション</p> <p>① 自己紹介、グループリーダー、副リーダの選出 ② 日程紹介</p> <p>4. アクション・プラン概要説明</p>	<p>になっているが、政府はどのような対策を行っているか」等の質問がありました。この他、日本について、優れたアニメやゲームが身近な存在であったことその他、「桜が美しい国という程度の知識でしたが、歴史、文化、戦後の経済発展などの概要を知ることができた」との意見がありました。</p>
<p>2022年 3月10日 北海道小樽市</p>	<p>【自治体視察】</p> <p>1. 小樽市魅力発見バーチャルツアー</p> <p>① 小樽堺町通り ② ドローンを用いた小樽海岸エリアツアー ③ 小樽運河</p> <p>2. 集合写真撮影 3. グループごとの振り返り</p>	<p>案内人の話のテンポが良く豊富な情報が紹介され、参加者は熱心に聞き入っていました。また、所々のクイズでは参加者が興味深く参加し、ツアー中には、小樽市への行き方、小樽市の最も美しい季節、名物料理、市民の職業やニシン漁について、たくさんの質問や感想がありました。</p>
<p>2022年 3月11日 北海道</p>	<p>【テーマ交流・視察】</p> <p>1. プログラムの説明、講師紹介 2. 講義 「災害報道と記者—北海道からインドネシアへ」 講師：株式会社北海道新聞社 担当部</p> <p>3. 質疑応答 4. 参加者からの感想 5. 集合写真撮影</p>	<p>国が違ったとしても、ジャーナリストとして抱えるジレンマは同じであることから、災害発生時の取材されたくない被災者とジャーナリストの対応や、紙媒体としての新聞とオンラインメディアの地位比較、号外の重要性などの質問が出ました。また、災害報道という側面においては習慣の違いなどによる相違点もあり、参加者は興味をそそられるだけでなく、多くを学んでいる様子でした。</p>
<p>2022年 3月12日 北海道</p>	<p>【ホームビジット交流】</p> <p>1. 北海道滝川市紹介 2. ホストファミリー紹介（4家庭） 3. ホームビジット交流 4. 集合写真撮影</p>	<p>地域紹介では、参加者の属性に合わせて地元メディア企業の紹介動画を流し、参加者は興味を持った様子でした。また、ホームビジットでは各家庭工夫を凝らし参加者を歓迎してくださり、終始笑顔があふれる</p>

	5. グループごとに振り返り	和やかな雰囲気で行われました。参加者は、日本の文化全般と日本の報道について関心を寄せており、その他にも日本人の日常生活や習慣についての質問がありました。 ホームビジット終了後は、他の家庭ではどのように過ごしていたのかを参加者間で報告し合っており、どのグループも大変楽しく満足していたことが分かりました。
2022年 3月15日 東京都	<b>【報告会】</b> 1. 開会 2. グループ別発表 3. 講評 SIMA 国際経営研究所 所長 木村 秀夫氏 4. JICE からののお知らせ、閉会	参加者同士で事前に役割分担を決め、SNSで連絡を取り合っていたため、当日もスムーズに進みました。 初日の講師からの講評を受けることができ、喜んでいる様子でした。

## 2. 記録写真

 <p>Latar belakang sejarah</p>	
2021年10月6日【ウェビナー・質疑応答】 一般社団法人てこらぼ	2021年10月6日【ウェビナー・質疑応答】 本藍染雅織工房のインドネシア関連事業
	
2022年3月9日【日本概要講義・質疑応答】	2022年3月9日【オリエンテーション】
	
2022年3月10日【小樽堺町通りのライブ視察】	2022年3月10日【小樽上空からの地域視察】

	
<p>2022年3月11日【メディア関係者交流：ウェビナー、意見交換】北海道新聞社</p>	
	
<p>2022年3月12日【ホームビジット交流】 地域紹介</p>	<p>2022年3月12日【ホームビジット交流】</p>
	
<p>2022年3月15日【報告会】 アクション・プランを発表する様子</p>	<p>2022年3月15日【報告会】 集合写真</p>

### 3. 参加者の感想（抜粋）

- ◆ このプログラムは大変面白かったです。京都とジョグジャカルタが長く友好都市であったことなど初めて知ることが多かったです。今後も継続し、日本—インドネシア間の友好関係がさらに緊密になることを願います。
- ◆ 今日オンラインプログラムに参加できてよかったです。講師のお二人には、日本でバティックを広めてくださっていることに感謝の気持ちを伝えたいです。日本で今後もバティックが受け入れられ、日本人に好まれる物であってほしいです。
- ◆ このイベントに参加し、日本を訪問したいと強く思いました。実際に足を運んだ際には、また違った印象を受けると思います。
- ◆ オンラインプログラムとしては良かったです。また、実際に訪日したいと思いました。

#### 4. 受入れ側の感想（抜粋）

##### ◆ 講師

的確な問題点を捉えた質問を受け、講義をよく聞いてくださったと思いました。色々と JICE の皆さまのサポートを頂きました、感謝しております。ありがとうございました。

##### ◆ 協力団体担当者

JICE の担当者と十分連携を取りながら当日を迎えることができ、安心して対応することができました。初めてオンラインホームビジットを実施し、対面での実施ではない事への不安を持っていましたが、通訳の方も交えての交流に対する参加家庭の満足度が非常に高く、実施できて良かったです。

##### ◆ ホストファミリー

ホームビジットを受けるにあたって、今までほとんど知らなかったインドネシアという国について子供たちと一緒に調べることができたのはとても貴重な機会でした。また雪を見たことがないインドネシアの方々とお話し、予想しなかった質問などもありとても興味深かったです。

#### 5. 参加者の対外発信

	
<p>2021 年 10 月 6 日（Instagram） 「バティックとジャパブルー（藍染）」というテーマの JENESYS オンラインクラス（ウェビナー）に参加しました。インドネシア人のバティック愛が、講師お二人が日本人にバティックを紹介する情熱に負けませんように。</p>	<p>2021 年 10 月 6 日（Facebook） このような機会を下さり、ありがとうございます。ジョグジャカルタと京都の良好な関係が続くことを願っています。</p>

Sebagai reporter muda dan baru dalam mengemban pekerjaan di bidang jurnalistik, saya senang sekali mendapatkan kesempatan untuk mengikuti program JENESYS. Program JENESYS merupakan salah satu program pertukaran internasional yang sedang dipromosikan oleh pemerintah Jepang bahkan program pertukaran personal yang berlangsung antara Jepang dengan Negara-negara maupun Wilayah di Kawasan Asia Pasifik.

Program JENESYS ini biasanya dilakukan secara offline dengan mengunjungi secara langsung negara Jepang. Namun, karena situasi pandemi COVID-19 masih melanda dunia, program ini diadakan secara daring selama 2 tahun terakhir.

Pada program JENESYS, saya banyak belajar mengenai negara Jepang, mulai dari budaya, perfilman, geografis Jepang, dan keindahan kota Jepang itu sendiri. Saya berharap saya bisa mengikuti program ini lagi dan bisa mengunjungi negara Jepang secara langsung 😊

#JENESYS #JENESYS\_Indonesia #JENESYS\_ASEAN



2022年3月11日 (Facebook)

ジャーナリズムの発展に関わる若手ジャーナリストの一人として JENESYS プログラムに参加する機会を得ることができ、とても嬉しく思っています。JENESYS プログラムとは、日本政府が推進する国際交流プログラムの一つで、日本とアジア太平洋各国・地域間における人の交流を行っています。JENESYS プログラムは、例年は実際に訪日するという形で実施されています。しかしながら、世界中で新型コロナウイルス感染症が未だ問題になっているため、この2年間のプログラムはオンラインで開催されています。JENESYS プログラムに参加して、私は日本について多くを学びました。文化に始まり、映画、日本の地理や町の美しさなどです。再度このプログラムに参加できること、次回は実際に日本に行けることを願っています。

Pemerintah Jepang kembali menggelar program Japan-East Asia Network of Exchange for Students and Youths (JENESYS). Tapi, karena situasi yang belum memungkinkan untuk datang langsung ke Jepang, tahun ini JENESYS digelar daring.

Tapi, biarpun cuma interaksi daring, keseruan tetap ada. Walau harus tur ke kota dan keluarga di Jepang dari jarak jauh, suasananya tetap dapat. Ada keramahan dan kehangatan. Terutama dari keluarga di Jepang. Bikin makin gah sabar nunggu situasi lebih baik, dan langsung terbang ke Jepang.

Dan ini sebagian dokumentasi acara kuliah dan tur yang digelar dari 9 Maret sampai 12 Maret kemarin. Tanggal 15 Maret nanti bakal ada presentasi dari masing-masing grup yang ikut.

Cekidot gan...

#JENESYS  
#JENESYS\_ASEAN



2022年3月14日 (Facebook)

日本政府は JENESYS プログラムを再開しました。状況により、日本を実際に訪れることはできないため、今年の JENESYS プログラムはオンラインで開催されることになりました。オンラインでの交流ではありましたが、ワクワクしました。日本の街や家族をリモートで訪問し、雰囲気を楽しむことができました。日本の家族の皆さんは親切で、温かく迎えていただきました。状況が落ち着いたなら、すぐにでも日本に飛んで行きたいです。こちらが3月9日から12日まで開催された講義やツアーの記録の一部です。3月15日には参加グループが最終発表をすることになっています。

## 6. 最終報告会でのアクション・プランの発表

<p style="text-align: center;"><b>Our Action Plan(Grup)</b></p> <p style="text-align: center;"><i>Sebagai Action Plan Grup, bagaimana caranya menyebarkan informasi atau temuan maupun pengetahuan yang diperoleh melalui program, Apa saja yang akan dilaksanakan ?</i></p> <p style="text-align: center;"><b>Grup F Batch# 22</b></p> <p style="text-align: center;"><small>*Ketua/Penanggung jawab masing-masing grup diharapkan agar menyerahkan lampiran ini kepada koordinator masing-masing grup.</small></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 実施理由：情報の普及</li> <li>■ 実施する者：グループメンバー</li> <li>■ 実施時期：2022年3月末～4月初旬</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>Our Action Plan (Grup F Batch# 22)</b></p> <p>Diharapkan agar melaksanakan Action Plan pasca program</p> <p>◎Judul All About Japan</p> <p>Mengapakah ? (Alasan /tujuan pelaksanaan action plan) Tujuan pelaksanaan Our Action Plan adalah agar semua pembaca mengetahui informasi mengenai negara Jepang</p> <p>Kapan ? (Mohon dituliskan tentang jadwal pelaksanaan action plan dalam 3 bulan pasca program) Dimulai pada akhir bulan Maret atau awal bulan April 2022 dan akan terus berlanjut.</p> <p>Siapa saja ? (Siapa saja yang melaksanakan action plan ? ) Yang melaksanakan Our Action Plan adalah anggota grup F Batch 22</p> <p>Kepada siapa ? ( Kepada siapa saja melaksanakan action plan ? ) Yang menjadi sasarannya adalah followers di akun Instagram masing-masing anggota grup.</p> <p>Apa saja ? (Konten action plan, Apa yang hendak dilakukan ?) Bagaimanakah ? (Bagaimanakah caranya ? ) Isinya adalah Informasi yang kita dapat dari program JENESYS dan Informasi yang kita dapat dari internet mengenai negara Jepang.</p> <p><small>*Setelah sesi workshop, Worksheet ini maupun My Action Plan agar diunduh pada link yang dikirimkan dari JICE.</small></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 実施方法: Instagram アカウントのフォロワーに対し、JENESYS プログラムで得た情報や自分たちがインターネットで探した情報について発信します。</li> </ul>

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター (JICE)